



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 9941 URL https://www.taiyo-bussan.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介
問合せ先責任者 (役職名) 総務部 ジェネラルマネージャー (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績 (2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	9,571	0.0	105	—	80	—	60	—
2023年9月期第2四半期	9,565	△4.9	△0	—	△34	—	△38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	31.16	30.03
2023年9月期第2四半期	△20.10	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	7,879	745	9.2	376.69
2023年9月期	7,668	688	8.7	348.22

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 728百万円 2023年9月期 673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,257	16.1	220	31.9	176	34.0	139	19.9	72.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付書類P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期2Q	1,934,019株	2023年9月期	1,934,019株
2024年9月期2Q	753株	2023年9月期	753株
2024年9月期2Q	1,933,266株	2023年9月期2Q	1,933,266株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、経済活動が正常化に向かう一方、継続する物価上昇による消費の減速など、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。2020年1月頃から顕著になった新型コロナウイルス感染症による経済活動が正常化に向かう一方、2022年2月から始まったロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の上昇及び円安の継続等による市場の混乱が依然として続いており、経済活動について先行きが見えない状況の中、当第2四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、未だ外食産業を中心とした需要は回復に至っておらず、売上高・取扱数量は減少となりましたが、新規アイテムの成約や、利益率の高い商材の販売を増加させることができました。次に農産品では、新規契約の取引が進み、売上高・取扱数量ともに増加となりました。中国関連の取引においては、中国向けの輸出取引・三国間取引を中心に売上高・取扱数量ともに増加となりました。輸入豚肉に関しては、中東問題による航路の迂回等を余儀なくされたことによる入船遅れ及び輸送コストの上昇等により、前年同期比で売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は、95億71百万円(前年同四半期累計期間比 5百万円増)、営業利益1億5百万円(前年同四半期累計期間は 営業損失0百万円)、経常利益80百万円(前年同四半期累計期間は 経常損失34百万円)、四半期純利益60百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失38百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

牛肉は外食産業への販売をメインとしており、売上高・取扱数量ともに減少し、厳しい市況が続いておりますが、利益の高い新規アイテムの成約等もあり、利益は増加いたしました。

鶏肉については、前事業年度より、輸入鶏肉の取扱量の縮小を進め、損失の回避に努めてきたことにより、売上高・取扱数量ともに減少となりましたが、新規契約の取引の成約等により、利益は増加しました。国産鶏肉については、取引を安定的に確保するため、新規取引先の開拓に努めた結果、売上高・取扱数量ともに増加いたしました。

タイ産加工食品は、海外の生産・輸送体制の回復基調、新規商材の提案による利益率の高い商材の販売が成約できたこと等により売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、32億1百万円(前年同四半期累計期間比31.7%減)、セグメント利益は、79百万円(前年同四半期累計期間比133.0%増)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、大豆等の産地価格の高騰や産地国の輸出規制の影響もありましたが、蕎麦について新規契約の取引の成約により、利益率の高い商品の販売を増加させることができました。

化学品は、化学品原料については、価格競争や為替相場の変動により商品を確認することができず、他の新規商材を開拓しているものの、取引量を伸ばすことができませんでした。

中国関連におきましては、中国向け自動車販売や中国のネット事業者向け化粧品等物の販売が順調に推移し、中国市場の潜在的需要の高さを背景に取扱商品を着実に増加させることができ、売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、60億50百万円(前年同四半期累計期間比54.4%増)、セグメント利益は、1億3百万円(前年同四半期累計期間比231.1%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉に関しましては、前事業年度に続き、市場の在庫過剰感、為替相場、中東における国際情勢の影響による航路迂回等による入船遅延及び輸送コストの上昇により、需要の様子見が継続しております。新たな契約の成約もありましたが、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、3億19百万円(前年同四半期累計期間比66.6%減)となりました。セグメント損失は、2百万円(前年同四半期累計期間はセグメント利益7百万円)となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、現金及び預金、売上債権の増加等に伴い、前事業年度末に比べ2億10百万円増加し、78億79百万円となりました。

負債につきましては、主に借入金の返済があったものの、新規借入による資金調達により、前事業年度末に比べ1億53百万円増加し、71億33百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び繰延ヘッジ損益の減少等により前事業年度末に比べ57百万円増加し、7億45百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ5億77百万円減少し12億50百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、3億83百万円(前年同四半期累計期間は13億34百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益80百万円と前渡金3億69百万円の減少による収入に対し、売上債権31百万円の増加等による支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3百万円(前年同四半期累計期間は0百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産2百万円の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、1億96百万円（前年同四半期累計期間は3億76百万円の使用）となりました。これは、短期借入金1億96百万円の純増によるものです。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,149	1,250,977
受取手形及び売掛金	4,230,175	4,258,725
電子記録債権	9,270	11,740
商品	1,367,505	1,300,708
その他	790,760	460,284
流動資産合計	7,070,860	7,282,438
固定資産		
有形固定資産	222,030	220,370
無形固定資産	2,859	3,057
投資その他の資産	372,942	373,685
固定資産合計	597,832	597,113
資産合計	7,668,693	7,879,551
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	866,085	800,503
短期借入金	5,771,564	5,968,131
未払費用	165,258	172,160
その他	34,385	49,598
流動負債合計	6,837,293	6,990,394
固定負債		
退職給付引当金	102,601	104,988
その他	40,748	38,374
固定負債合計	143,350	143,363
負債合計	6,980,644	7,133,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	246,914	307,170
自己株式	△969	△969
株主資本合計	661,530	721,787
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	11,679	6,458
評価・換算差額等合計	11,679	6,458
新株予約権	14,839	17,549
純資産合計	688,049	745,794
負債純資産合計	7,668,693	7,879,551

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）
売上高	9,565,994	9,571,756
売上原価	9,343,479	9,210,929
売上総利益	222,514	360,827
販売費及び一般管理費	222,607	255,133
営業利益又は営業損失（△）	△93	105,694
営業外収益		
受取賃貸料	5,129	6,739
その他	1,292	294
営業外収益合計	6,421	7,033
営業外費用		
支払利息	27,835	27,839
為替差損	7,726	90
その他	4,918	4,687
営業外費用合計	40,480	32,617
経常利益又は経常損失（△）	△34,151	80,110
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△34,151	80,110
法人税、住民税及び事業税	4,159	20,247
法人税等還付税額	-	△322
法人税等調整額	562	△70
法人税等合計	4,721	19,854
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△38,873	60,256

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 （△）	△34,151	80,110
減価償却費	3,747	3,793
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△8,555	2,387
受取利息及び受取配当金	△19	△4
支払利息	27,835	27,839
為替差損益（△は益）	△105	△1,860
売上債権の増減額（△は増加）	748,085	△31,019
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,179,206	66,796
仕入債務の増減額（△は減少）	△529,261	△65,581
前渡金の増減額（△は増加）	△92,704	369,869
未収消費税等の増減額（△は増加）	131,526	△49,082
未払費用の増減額（△は減少）	△161,199	6,887
未払消費税等の増減額（△は減少）	60,707	△2,563
その他	50,596	8,612
小計	1,375,706	416,183
利息及び配当金の受取額	19	4
利息の支払額	△25,978	△30,214
法人税等の支払額	△15,688	△3,879
法人税等の還付額	-	1,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,334,059	383,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△669	△2,132
無形固定資産の取得による支出	-	△198
その他	576	△1,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△3,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△374,614	196,567
長期借入金の返済による支出	△2,328	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376,942	196,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	105	1,860
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	957,130	577,828
現金及び現金同等物の期首残高	320,126	673,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,277,256	1,250,977

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自2022年10月1日 至2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,691,534	3,916,705	957,754	—	9,565,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,691,534	3,916,705	957,754	—	9,565,994
セグメント利益又は損失（△）	34,227	31,219	7,570	△73,110	△93

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△73,110千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自2023年10月1日 至2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,201,844	6,050,632	319,279	—	9,571,756
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,201,844	6,050,632	319,279	—	9,571,756
セグメント利益又は損失（△）	79,762	103,381	△2,079	△75,370	105,694

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△75,370千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。